

# 記者発表資料

発表年月日	送信枚数	発信元
平成 29 年 9 月 20 日	1 枚 (本紙含む)	上郡記者クラブ事務局 担当：富山 T E L:0791-52-1111 F A X:0791-52-5172

## 件名：赤松居館跡発掘調査成果現地説明会

■日時 平成 29 年 9 月 24 日（日）午後 13 時 30 分～15 時（受付午後 13 時）

■場所 赤松居館跡発掘調査現場（兵庫県赤穂郡上郡町赤松 439-1）

### ■内容

【趣旨】 兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室と上郡町教育委員会が実施している赤松氏と山城調査研究事業の一つである赤松居館跡の範囲確認調査の今年度の成果を、現地を公開して一般の方々に説明します。

【内容】 今年度の調査では、全体で約 190 m<sup>2</sup>の調査区を設定し、遺構面（遺跡が存在する面）を 3 面確認しています。

もっとも浅い第 1 遺構面は、整地された上に形成されており、礎石柱列、溝、土坑、柱穴を検出しています。溝と土坑からは大量の土師器皿が出土し、鉄滓（スラグ）も出土しています。

第 2 遺構面は、暗褐色土で整地した上面を黄褐色の粘土で整地しています。整地は館跡敷地の南西部で落ち込んでおり、元々の地形は南西側に傾斜する地形であったことが判明しました。遺構面からは、土器溜を 2 箇所を検出しています。出土している土器は、土師器の皿がほとんどですが、備前焼播鉢も出土しています。

第 3 遺構面は、第 2 遺構面の整地土の下で部分的に検出しています。整地面上面に炭化物や焼土が認められます。

出土遺物の大半は土師器皿であり、共伴して出土している備前焼の年代から 14 世紀前葉～後葉と考えられます。

文献史料には、館跡の整備記録に赤松則祐（1365 年）とその息子義則（1406 年）、赤松政則（1490 年）の 3 回の記事が認められますが、土器の年代観と整合させるならば、第 2 遺構面が赤松則祐の時代と考えられます。

■記者説明会 平成 29 年 9 月 21 日（木）午後 15 時 30 分～ 赤松居館跡発掘調査現場

※上記内容の詳細資料をお渡ししますので、現地にお越しください。

お問合せ先 上郡町教育委員会 教育総務課 総務・文化財係 ☎Tel 0791-52-2911  
(調査担当：島田 090-9702-7225)

〒678-1292 兵庫県赤穂郡上郡町大持 278

さわやかに歴史と  
未来の出逢うまち



上郡町